

出版の現在、 人文学の未来

～「本を作り、届ける」という仕事～

出版不況と言われるなか、個性的な出版社や本屋が各地に増えている。出版社で編集を経験したあと独立してミシマ社を設立した三島邦弘さん、絵本専門店の書店員などをへて「スロウな本屋」を岡山市内に開店した小倉みゆきさん。二人をお招きして、本をつくり、届ける仕事にどう向き合ってきたのか、出版や人文学にどんな可能性があるのか、お話を伺う。



株式会社ミシマ社 代表

三島 邦弘 みしまくにひろ

出版社 2社をへて、2006年、株式会社ミシマ社を単身設立。原点回帰の出版社を掲げ、一冊入魂の出版活動をつづける。現在、東京・自由が丘と京都の2拠点で活動中。近年は、単行本だけでなく、ウェブ雑誌「みんなのミシマガジン」をはじめ、雑誌『ちゃぶ台』など、ユニークな情報発信、本づくりを手がける。



スロウな本屋 店主

小倉 みゆき おぐら みゆき

洋書店や子どもの本専門店の書店員を経験したあと、岡山に帰郷。大型書店に勤めながら、古民家を改装して開店準備を進め、2015年4月に岡山市北区南方に「ゆっくりを愉しむ」をコンセプトにした「スロウな本屋」をオープン。絵本のワークショップや子ども副店長による特別企画など、「ひと、モノ、こと」がつながる本屋づくりにとりくむ。



日時 2017年2月8日 水 18:00-19:30 (開場17:30)

会場 岡山大学津島キャンパス
文法経講義棟10番講義室

入場無料
申込不要



主催：岡山大学文学部 共催：文学部学生生活委員会
問い合わせ先：松村圭一郎（岡山大学文学部）
kmatsumura@okayama-u.ac.jp